

岡山リハビリテーション病院

2024年度 回復期リハビリテーション病棟の実績

①入院患者数 ^{※1}	574人
②退院患者数 ^{※1}	565人
③平均年齢 ^{※1}	75.2歳
	脳血管疾患 71.9歳 運動器疾患 80.2歳 廃用症候群 82.7歳
④平均在院日数 ^{※1}	72日
	脳血管疾患 80日 運動器疾患 61日 廃用症候群 46日
⑤在宅復帰率 ^{※2}	88.4%
⑥平均病床稼働率	93.7%
⑦リハビリテーション 実施単位数（1単位20分）	患者1人1日あたり 6.97単位

※1 回リハ対象外、再入院等を除いた有効者数

※2 回リハ入院料施設基準に準じた有効者数
（一般病床へ転院・死亡等を除く）

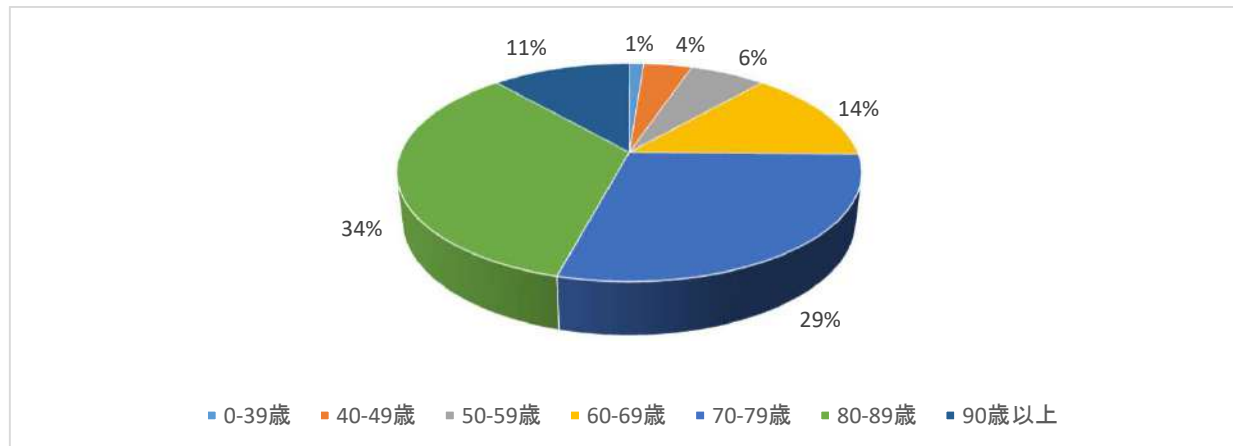
※統計表中の数字は、四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しない。

（参考文献）回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書 2025年2月

入院患者年齢別割合

有効 574人

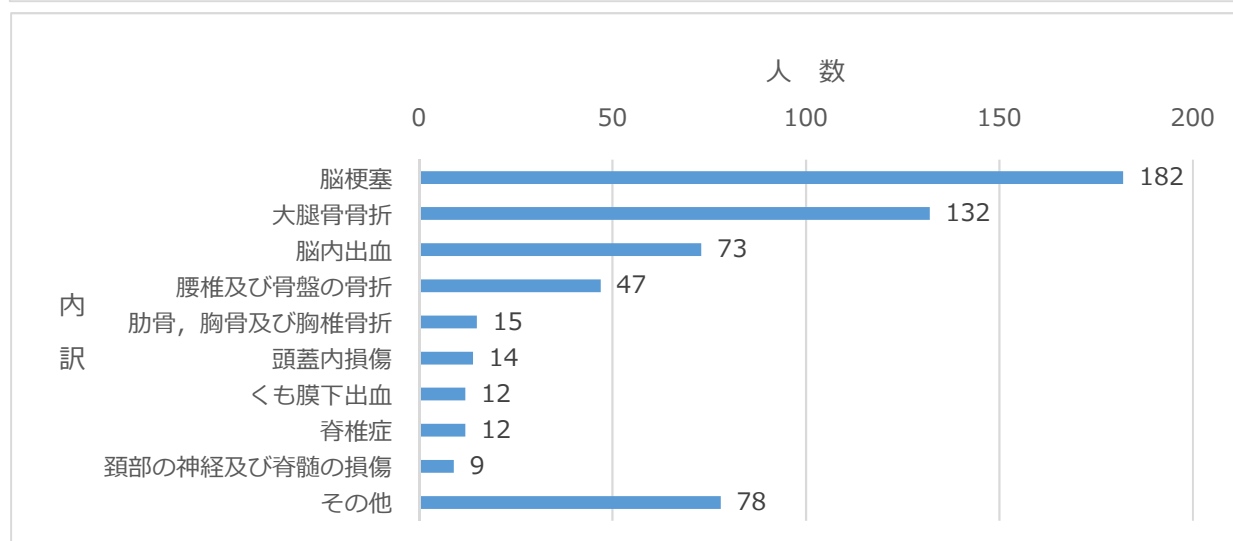
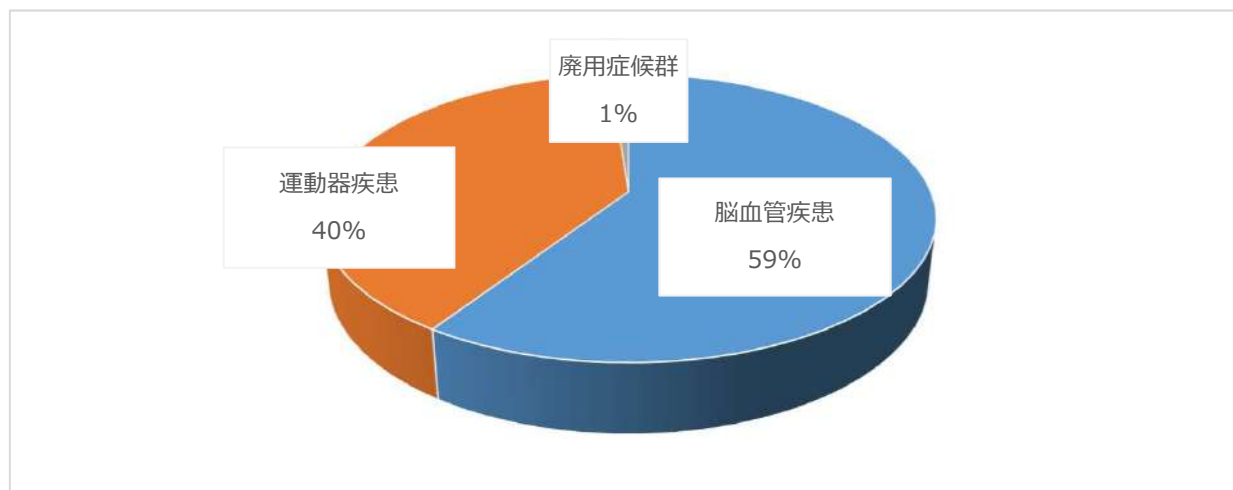
60歳未満の方は約11%となっています



疾患別入院患者数

有効 574人

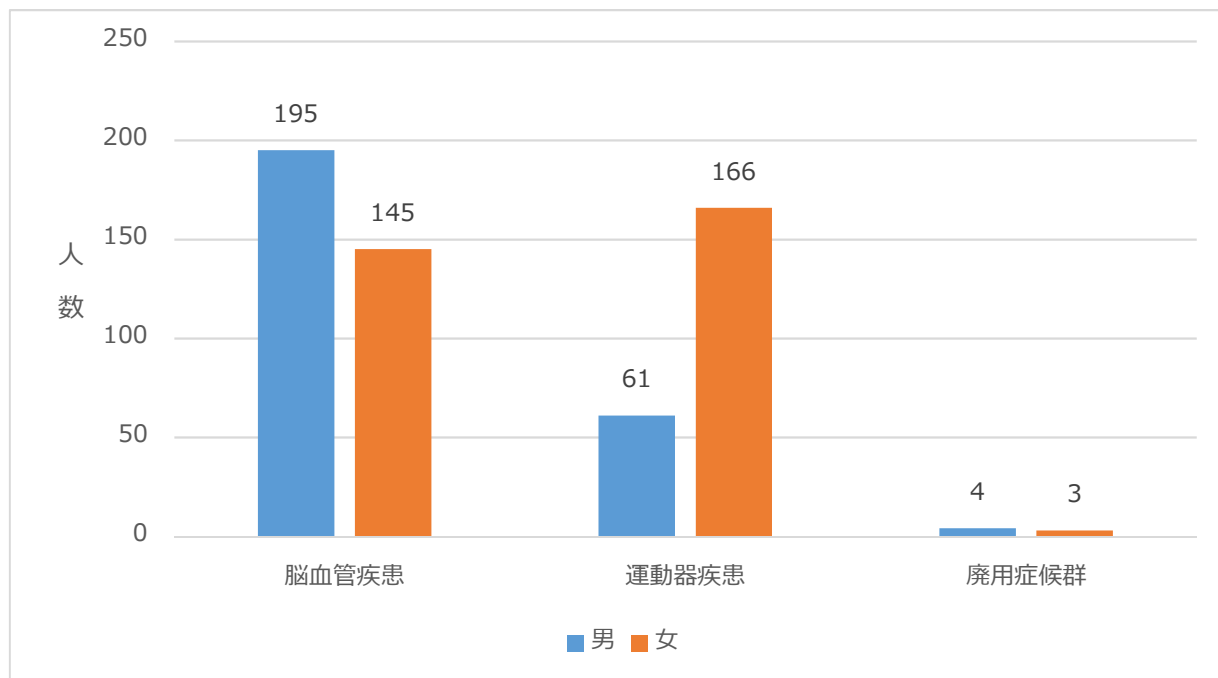
内訳として、脳血管疾患では脳梗塞、運動器疾患では大腿骨骨折が最も多いです



疾患別男女比

有効 574人

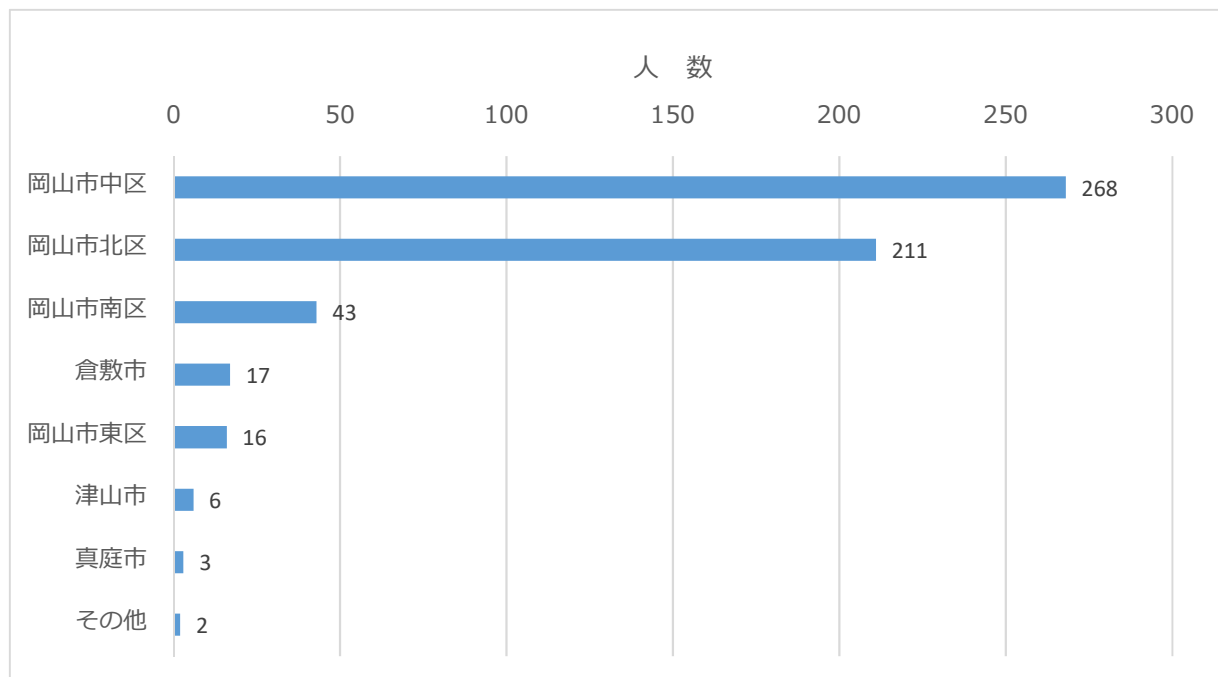
脳血管疾患は男性、運動器疾患は女性が多いです



紹介元医療機関住所地

有効 574人

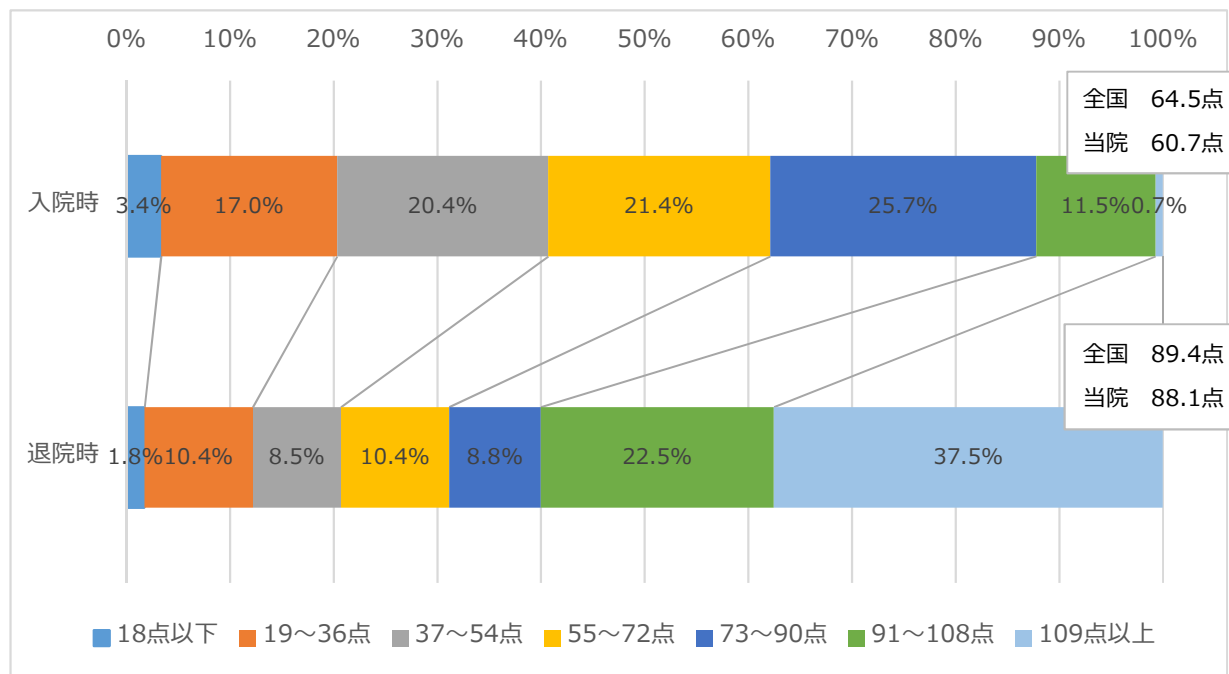
岡山市内の医療機関からの紹介が約94%です



ADL自立度の改善（FIM）

有効 565人

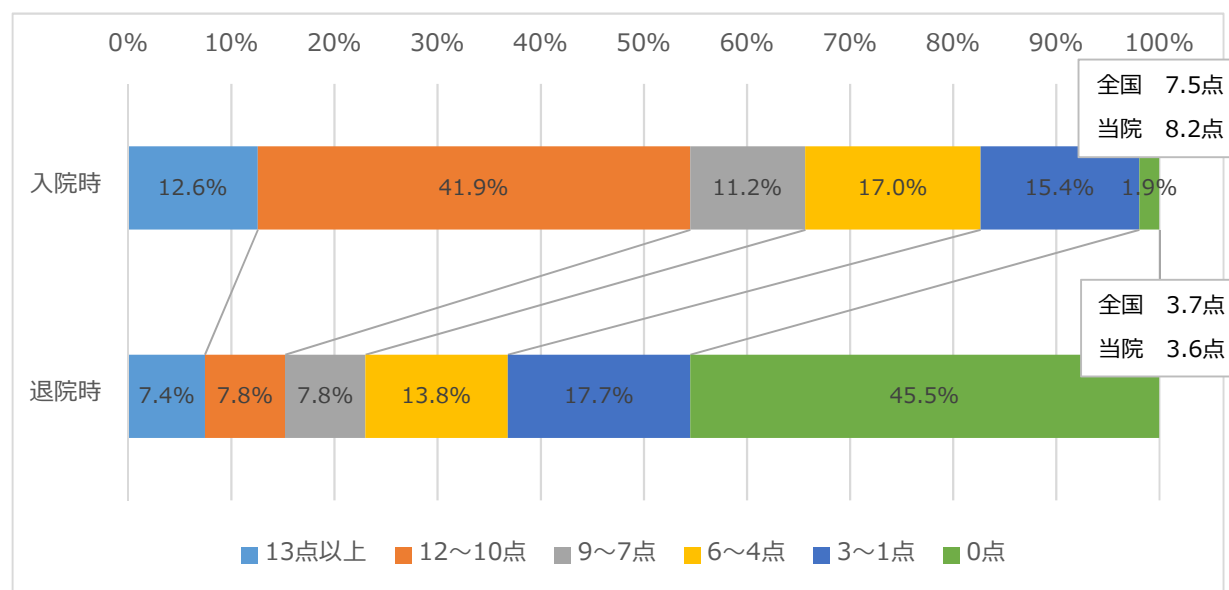
日常の生活動作の自立度を示す指標で、食事や移動などの“運動ADL”13項目と“認知ADL”5項目から構成されています。点が高いほど日常自立した生活が送れていることを示しています。最低18点／最高126点



ADL自立度の改善（日常生活機能評価）

有効 565人

食事摂取や衣服の着脱、トイレ動作など患者さまが日常生活で必要とする機能の状態を示す評価です。総得点は0～19点で評価され、得点が高いほど自立度が低くなります。

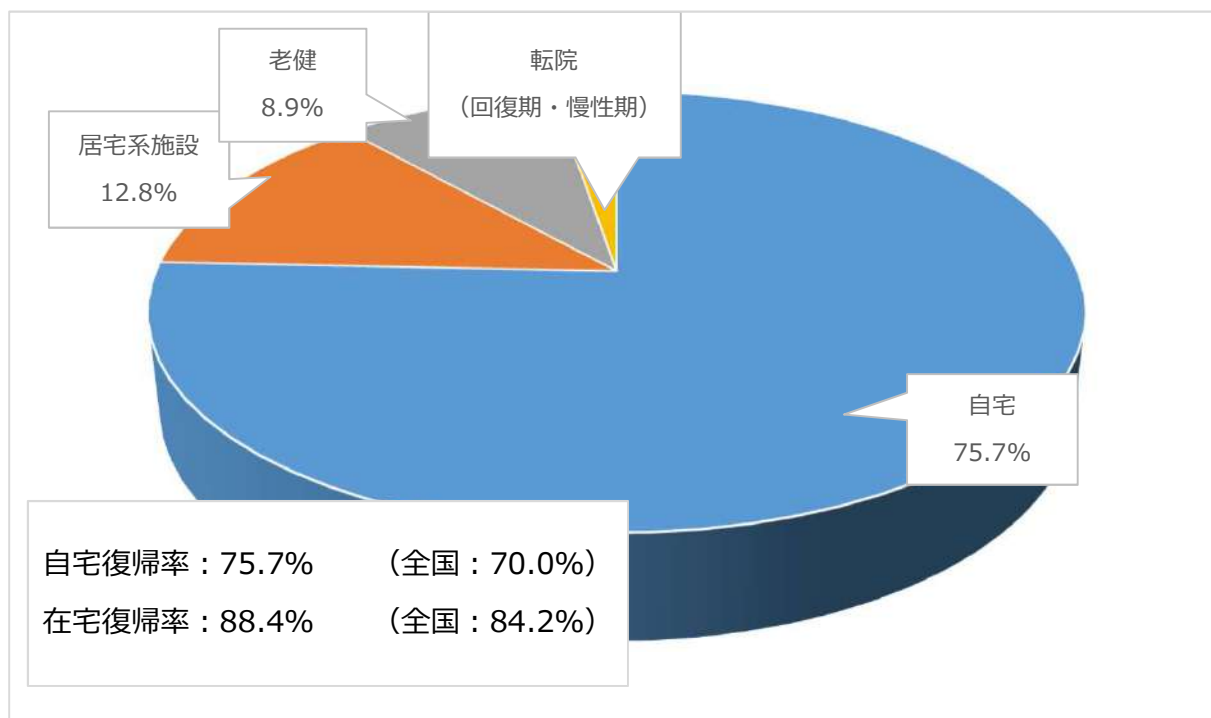


在宅復帰率

有効 493人

(一般病床へ転院・死亡等を除く)

在宅復帰率は約9割となっています



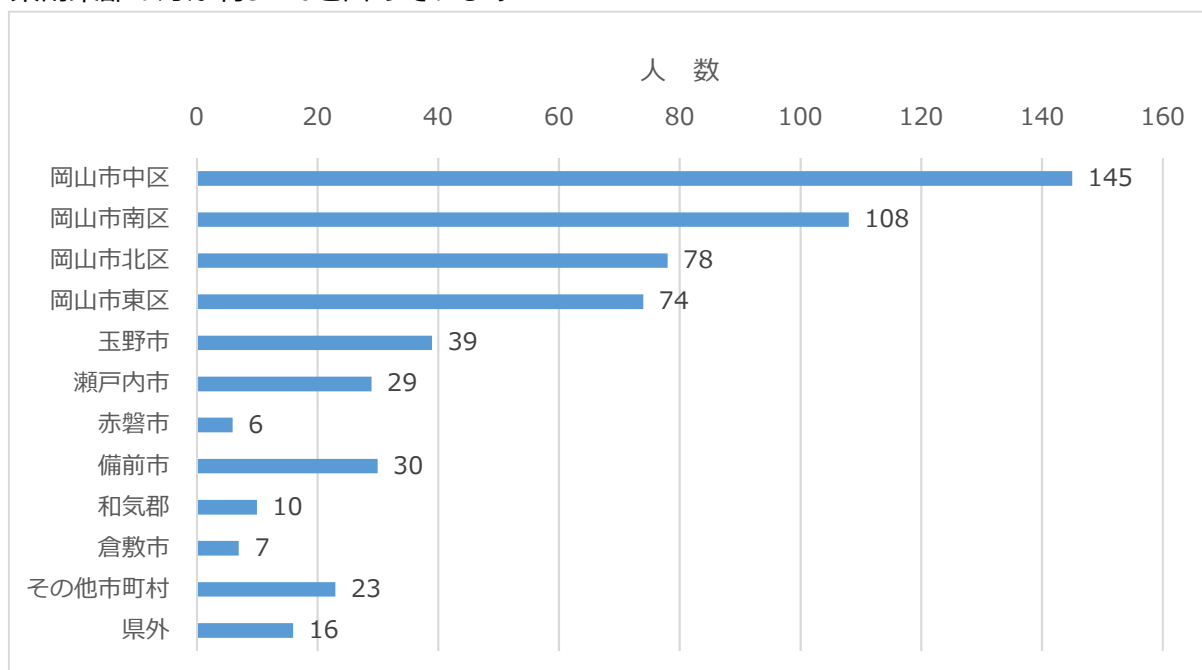
在宅復帰率：退院先が「自宅」「居宅系施設」の割合

居宅系施設：特別養護老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等

居住地

有効 565人

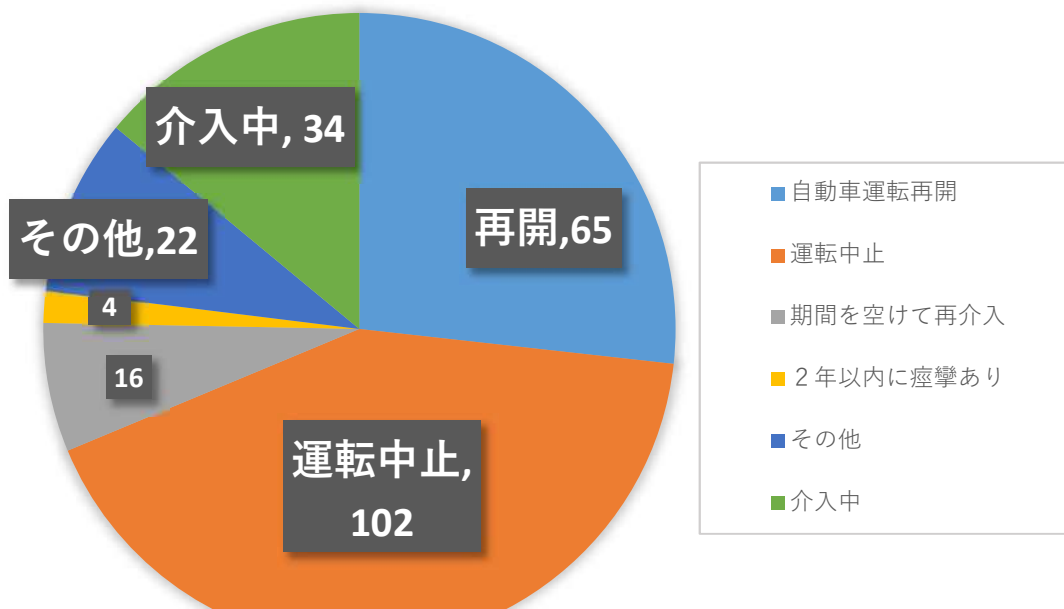
県南東部の方が約92%を占めています



自動車運転介入に関する支援結果（入院患者）

入院前に自動車運転免許を保有されていたすべての方を対象にした介入結果

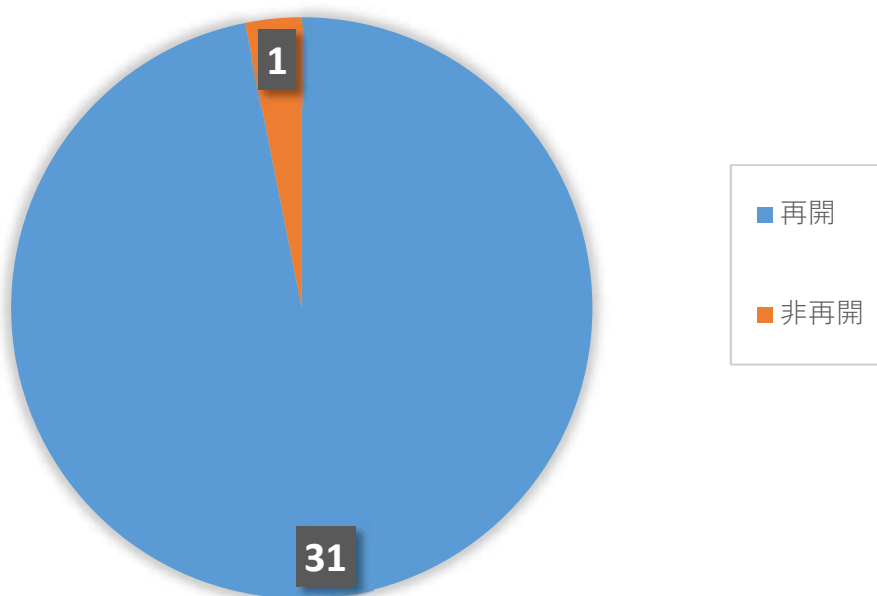
移動支援結果（病前免許保有者数：243名）



その他の内訳（一部）：当院では関わらない方針となる，本人と家族が介入を拒否される

自動車教習所を利用された総数およびその結果

教習所利用者（総数32名）



社会復帰支援の結果（退院患者）

当院入院時に就労されていた、もしくは65歳以下のすべての方を対象（128名）

